

海況速報

平成 15 年度 第 5 号 (通算 No.95)
平成 15 年 12 月 29 日
北海道立水産試験場



内容についてのお問い合わせは
中央水産試験場 海洋環境部
Tel 0135-23-4020

11 月下旬から 12 月中旬の海況

日本海海域

暖水渦？

荒天のため、積丹半島以南の海域は十分に観測ができませんでした。水温分布図には見えませんが、衛星画像を見ると、積丹半島はるか西方沖に暖水渦があるようで、この暖水渦の東側に北から冷水域が南下しているようです。水温偏差について見ると（水温偏差表参照）100m 以深で水温の低いところが多くなっています。余市における 11 月上旬以降 12 月中旬までの沿岸水温（旬平均）は、11 月は「やや高い」となっていました。12 月に入り「平年並み」に推移しました。

道東太平洋海域

低温継続

道東太平洋海域も荒天のため一部欠測となっています。水温分布図には見えませんが、衛星画像を見ると、北緯 41 度、東経 146 度付近には暖水塊があるようです。沿岸側では親潮系水（100m 層で 5 以下）が大陸棚上を襟裳岬南方まで張り出しています。水温偏差について見ると、観測を実施できた範囲では全体的に平年並みからやや低いところが多くなっています。

道南太平洋海域

津軽暖流渦モード

100m 層で 10 以上の津軽暖流は、道南太平洋海域を広く覆い、襟裳岬南方の東経 143 度 30 分付近まで張り出しています。津軽暖流は前回（10 月）に引き続き渦モード（*1）となっています。また、この津軽暖流水と道東から流れてくる親潮系水の間で水温差が大きくなっています。水温偏差について見ると、白老沖定線の津軽海峡東方の 100m 層以浅で水温が低くなっていますが、白老沖定線の噴火湾側の 200m 層では水温の高いところが多くなっています。

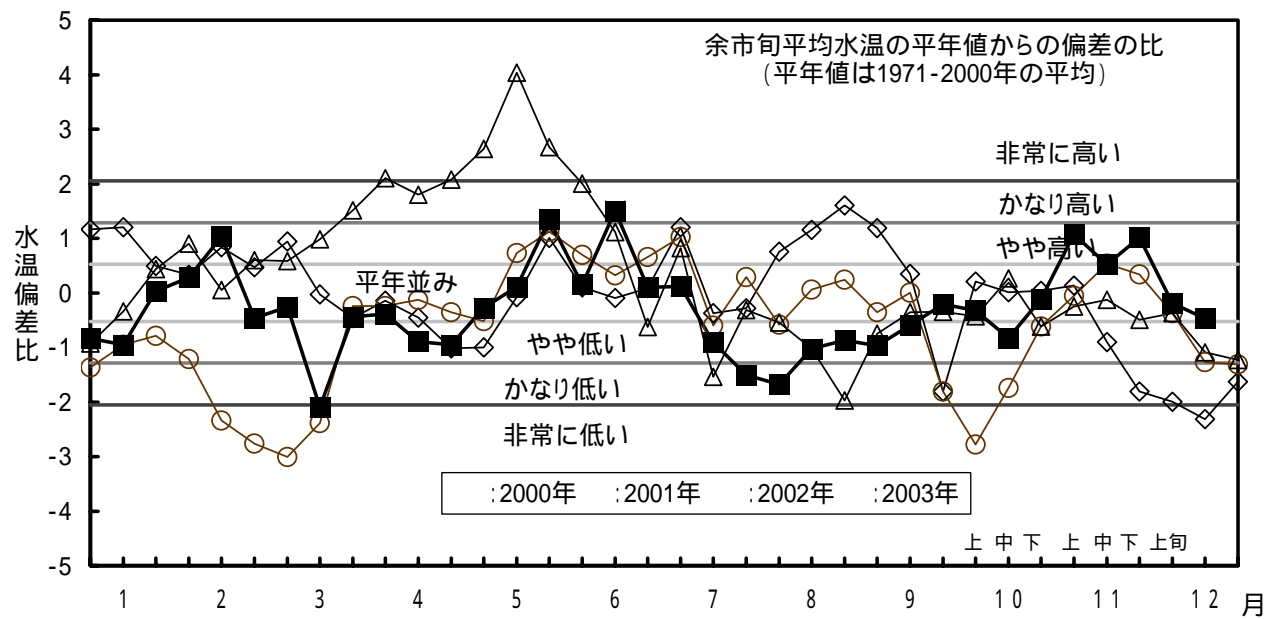
オホーツク海海域

宗谷暖流強め

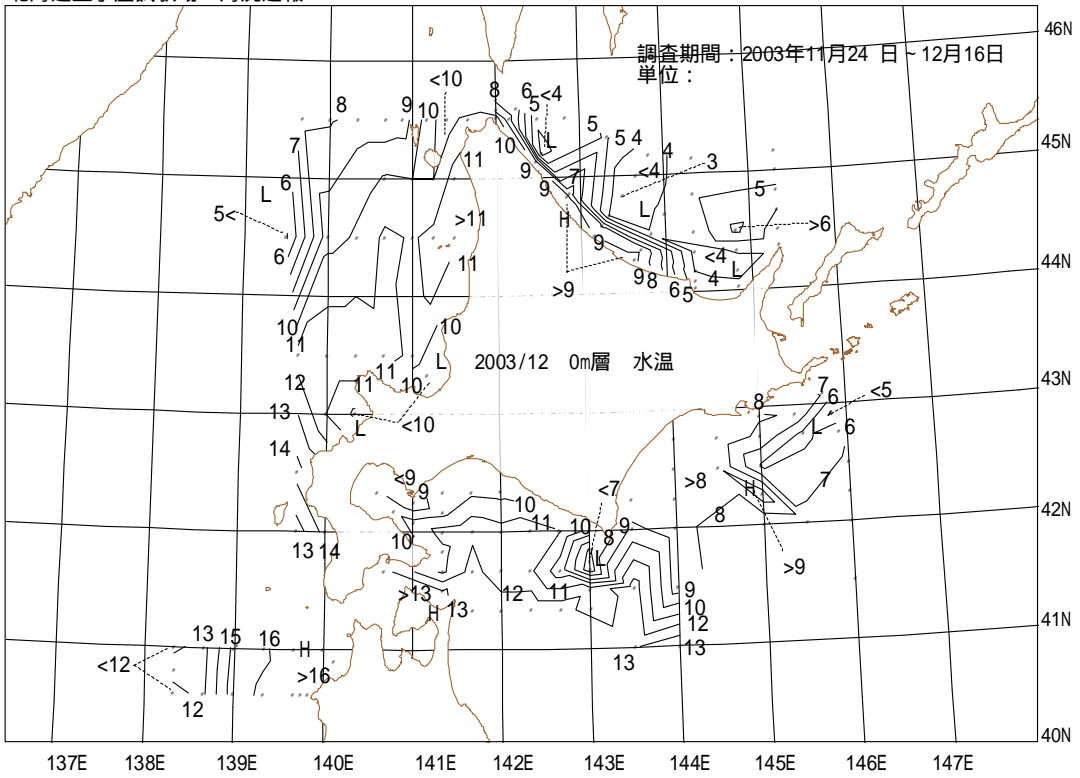
沖合には 0 m 層で 4 以下の東カラフト寒流が見えていますが、宗谷暖流は湧別沖まで 0 m 層で 9 以上のところが見られ、宗谷暖流は例年より強めです。水温偏差についてみると、宗谷暖流域で水温が高いところが多くなっており、紋別沖では平年より 4 以上も水温が高くなっています。

資料	観測期間	観測海域
青森水セ（東奥丸）	2003/12/1-12/2	（東北日本海海域）
稚内水試（北洋丸）	2003/11/25-11/28	（道北日本海海域）
稚内水試（北洋丸）	2003/12/1-12/3	（オホーツク海海域）
釧路水試（北辰丸）	2003/11/24-11/28 & 12/5	（道東太平洋海域）
函館水試（金星丸）	2003/12/10-12/12	（道南太平洋海域）
中央水試（おやしお丸）	2003/12/2-12/6 & 12/15-16	（道西日本海海域）

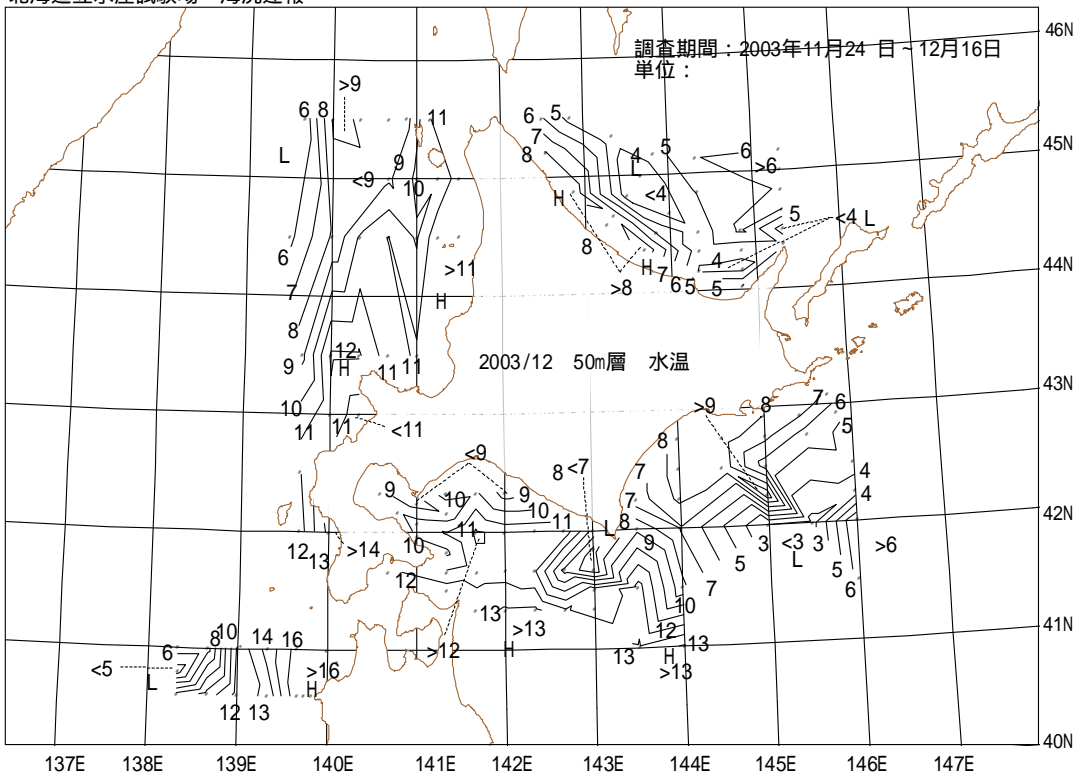
* 1：津軽暖流が津軽海峡から襟裳岬まで大きく張り出してから南下している状態を「渦モード」と呼びます。これに対して、津軽暖流が青森県尻屋崎からすぐ岸沿いに三陸方面へ南下している状態を、津軽暖流の「沿岸モード」と呼んでいます。



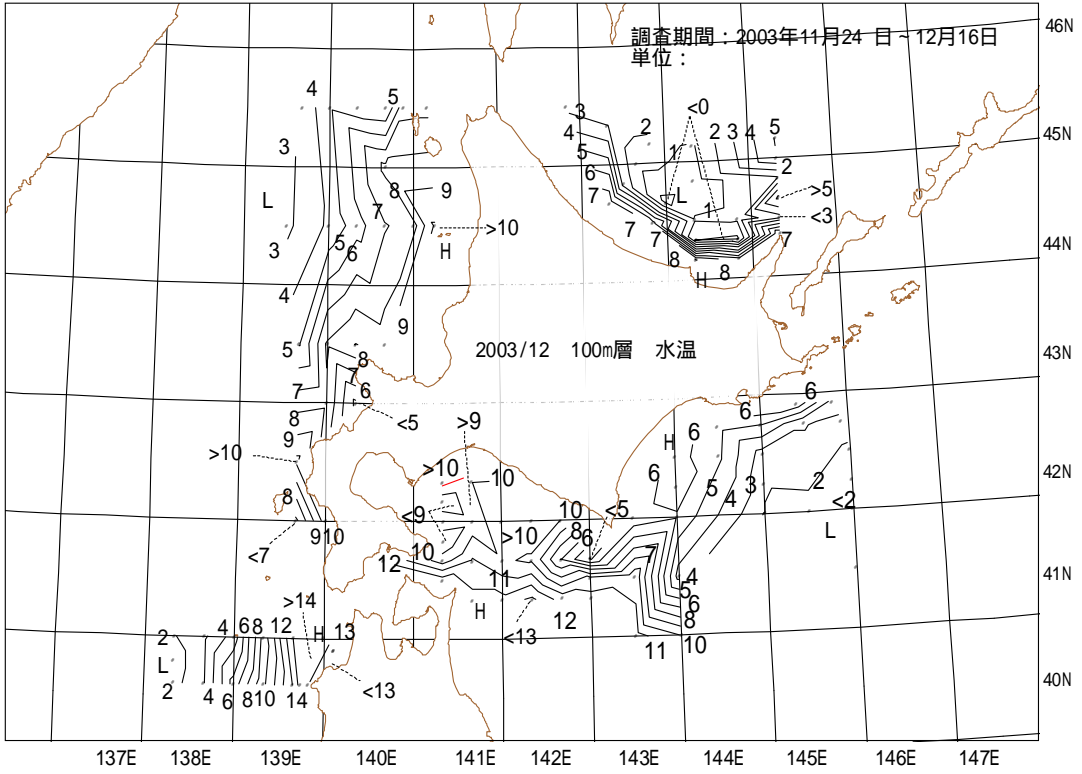
北海道立水産試験場 海況速報



北海道立水産試験場 海況速報



北海道立水産試験場 海況速報



北海道立水産試験場 海況速報

